

# 鍛造設備保全マイスター 育成塾

－ ご案内 －

## 五本柱

柱Ⅰ：設備保全の基本全般

柱Ⅱ：鍛造設備保全

柱Ⅲ：センシング技術及びIoT、AIの適用

柱Ⅳ：異常検知、異常診断の勘どころ

柱Ⅴ：具体的活動計画

# 鍛造設備保全マイスター育成塾とは

日本のものづくりを支える鍛造業において、「人材育成」、「技術開発」と並び重要なのが「設備保全」です。

本塾は、5つのテーマ（柱）で構成し、鍛造業に特化した設備保全教育を、座学と実習を織り交ぜ、体系化して習熟することにより、世界に誇れる「鍛造設備保全マイスター」を育成するために企画、立案いたしました。

## 習得目標

- i 鍛造設備保全及び機械要素に関する「基礎知識」、「技能」の習熟
- ii 五感を利かせ、三現主義で判断、対処できる「実践的な技能」の習熟
- iii 同業他社間における保全マン同士の「ネットワーク（人脈）」の構築

## 鍛造設備保全マイスターとは

鍛造設備をはじめとする保全全般に関する十分な基礎知識と実務経験を持ち、設備の異常を発見、診断し、対策を講じ、更に指導・育成ができる技能を有する者を「鍛造設備保全マイスター」と称する。

## 認定要件 ※ 詳細は後日公表します。

下記要件の全てを満たした人に対し、総合的に審査のうえ、日本鍛造協会 会長名で「鍛造設備保全マイスター」の称号を授与します。

### 要件①

右記五本柱の全柱を修了（複数年度、複数回の受講も可）すること。柱Ⅱは一つ以上のコースを選択。 但し、下記のいずれかに該当する方は、柱Ⅰを受講しなくても可。

- \* 設備保全の基本全般に関する十分な知識と実務経験を持ち、指導・育成ができるレベルに達している場合（要会社推薦）
- \* 機械保全技能検定の機械系保全及び電気系保全において共に2級以上取得者、又はそれと同等の知識を有する方

### 要件②

自社で実績を積み、会社から推薦を得ること。 審査会において実績事例を発表すること。

# 五本柱

「鍛造設備保全マイスター」として、必要な知識や技能を習熟するための、五つのテーマ（柱）です。柱Ⅱのみ4つのコースからの選択（複数年度、複数回の受講も可能）となっています。

## 柱Ⅰ：設備保全の基本全般

機械要素部品・空気圧装置・電動機周りの装置・油圧装置・管理手法を習熟

## 柱Ⅱ：鍛造設備保全

機械プレス・油圧プレス・スクリュープレス・エアハンマの全4コースがあります

## 柱Ⅲ：センシング技術及びIoT、AIの適用

鍛造設備及び鍛造生産ラインのIoT化・DXを推進する中核人材の育成

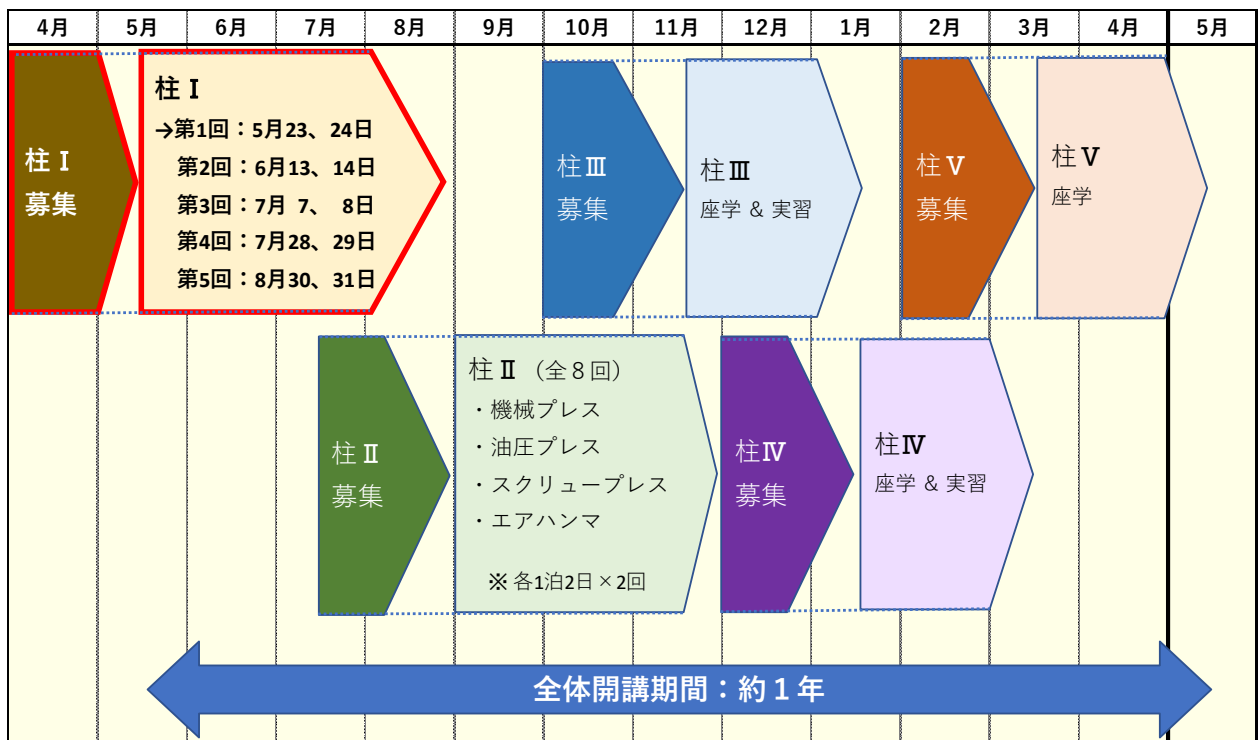
## 柱Ⅳ：異常検知、異常診断の勘どころ

データ解析結果からの推定、五感による人的情報感知能力を学ぶ

## 柱Ⅴ：具体的活動計画

作業手順書の作り方や保全計画の立案など

## スケジュール（予定）



※ 柱Ⅱ～柱Ⅳは、柱Ⅰの受講者及びそれと同等のレベルの方を対象



一般社団法人 **日本鍛造協会**

Japan Forging Association